全模研ニュース No,4

2016/2/5 発行

全日本中高教育模擬国連研究会
代　表　　　米　山　　宏

第 2 回勉強会が開催されました

ご報告が大変遅くなりましたが、第 2 回勉強会と関西地区第 1 回勉強会がそれぞれ昨年の 12 月 6 日と 13 日に開催されました。6 日の関西地区勉強会は星野先生のご好意で大阪大学中ノ島キャンパスのコミュニティスペースをお借りして、13 日は室崎先生のご尽力で渋谷教育学園渋谷高校の会議室をお借りして実施しましたので、以下に当日の概略をお伝えしたいと思います。

関西地区第 1 回勉強会

日時：12 月 6 日（日）10 時半～12 時半

場所：大阪大学中ノ島キャンパス

参加者：神野先生（立命館）、岡田先生（東大寺学園）、池田先生（高水高校）、前田先生（金沢大付属）、米山（公文国際）

内容：まず、参加された 5 人の先生方で自校の活動状況を発表したあと、個々の学校における課題等を提示して意見交換に移りました。一つの机を囲んで人数的にも非常に話易い環境でしたので、それなりに掘り下げた議論ができたのではないかと思います。2 時間強の話し合いの中で見えてきた課題は以下の通りでした。

1．生徒の活動に対する評価をどうするか。
2．1 年間のスパンで考えたときに活動の継続性をどのように確保するか。
3．毎年の活動と捉えたときに、年度ごとの継続性をどのように確保するか。（上級生から下級生への）
4．教科間のコラボレーションをどう推進していくか。

以上の 4 点です。勿論すぐに回答のでることではありませんが、どの学校でも似たような悩みはお持ちだと思います。今後もこの会で継続的に上記のような課題を扱っていきたいと思っています。参加された先生方ありがとうございました。特に池田先生は広島から、前田先生は金沢から駆けつけていただきました。お疲れ様でした。

第 2 回勉強会

日時：12 月 13 日（日）13 時半～16 時半

場所：渋谷教育学園渋谷高校

参加者：飯島先生（頌栄）、大西先生（大妻中野）、奥井先生（実践女子）、柿岡先生（浦和西・副代表）、菅家先生（渋谷渋谷）、木村先生（昭和女子）、清沢先生（桐光）、桐生先生（ぐんま国際）、後藤先生（玉川学園）、斉藤先生（渋谷幕張）、関先生（かえつ有明）、関根先生（啓明）、高城先生（聖心）、竹林先生（早実・副代表）、塚田先生（金沢大付属）、中山先生（不二聖心）、野村先生（ぐんま国際）、前田先生（金沢大付属）、宮坂先生（浅野）、室崎先生（渋谷渋谷）、米山（公文国際・代表）

内容：事例発表

① 玉川学園の場合（後藤先生）
② 渋谷教育学園渋谷高校の場合（室崎先生）
③ 公文国際学園の場合（米山）

まず①では、授業導入について実践事例を発表していただきました。具体的に対象学年や授業展開方法なども提示され、これから授業導入を図ろうとする方には非常に参考になったのではないでしょうか。②では活動に伴う生徒たちの自主的な動きが特筆です。単に模擬国連活動にとどまらない広がりは私たち教員の理想かもしれませ

ん。③では海外模擬国連参加から発展した校内大会へのプロセスについて発表させていただきました。本校のように「いきなり海外」も活動が広がる一つのきっかけになるかもしれません。

上記の 3 人の先生方の約 20 分間に及ぶ事例発表後には質疑応答時間を設けました。非常に活発に多数の質問が寄せられ、質疑応答だけでもそれぞれ 30 分を越す時間を要したほどでした。

発表者 3 名のパワーポイントファイルを添付しております。参加できなかった方もご覧いただければ、概ね発表の内容を把握できると思われます。各先生方には公開の許可を取っておりますが、生徒の個人写真等が含まれておりますので、そのままでの転載は禁止させていただき、お取り扱いには充分注意していただきますようお願いいたします。

事後懇親会

大阪では終了後に全員で階下にあるレストランでランチ（アルコールなし！）をとりながら懇親を深めました。また渋谷では付近にある居酒屋で（勿論アルコール付き！）8 名の先生方の参加をいただいて、こちらも充実した時間を過ごすことができました。今回残念ながら参加が叶わなかった先生方、是非次回はご一緒しましょう。

新たな大会について

東京･大阪での勉強会の際に代表の米山より、新たな模擬国連大会についての構想を発表させていただきました。この研究会の設立主旨としては、模擬国連をどのような形で教育の場に持ち込むのかという方法論やその効用などを勉強する場であると同時に、場の提供を試みるというものがあります。自校内の生徒同士での議論にとどまらず、いわゆる対外試合を設定しなければ、我々が目指している生徒の成長は簡単には望めないと言ってもいいかもしれません。

当日は各論では色々なご意見があったものの、総論については否定的なものはありませんでした。主催については正式にＡＣＣＵ（ユネスコ・アジア文化センター）にお願いすることができましたので、全模研との共催ということになります。大会の概要はまだ計画段階の域を出ていませんが、現時点における構想を添付にてお送りいたしますので、ご意見のある方は引き続き米山までご一報下さい。

大会自体は ACCU との共催になりますが、実際の運営はお手伝いをいただける学校とその先生方が動くことになります。従いまして必要とされるマンパワーが揃うか否かによって大会開催の適否が決定されることになります。スケジュール的には少々厳しいと思われますが、2017 年 1 月実施を目指して動く予定で、その経過は順次皆さんにご報告致します。今後の予定としては、ご希望の先生方で集まり企画会議→役員校の募集→開催告知と繋げてゆく計画ですので、近日中にまたご連絡致します。

その他の事務連絡

１．次回勉強会開催時期

全日本高校模擬国連大会の優秀チームの帰国報告会が 6 月の日曜日の午後に日本出版会館で予定されているので、昨年同様にその日の午前中の開催をイメージしています。詳細は追って連絡致します。

２．最新名簿について（担当教科をお知らせ下さい！）

昨年 12 月現在の最新名簿を添付致します。会の発足当初はお名前と所属、連絡先のみを伺っていましたが、多くの先生方より担当教科も知りたいという声があがっています。つきましては、こちらで把握している限りは追記致しましたが、まだまだ空欄もございます。大変恐縮ですが、担当教科の部分が空欄の先生方は米山までご一報下さい。